

あずま
東つよし

つよしの

憲法とくらしを守る声を岡山から

メーデーは今年第90回

5月1日は第90回メーデー。岡山県労働組合会議(全労連)の岡山中央メーデーは石山公園(北区石関



メーデー会場にて。すみより聡美さん(右2人目)と日本共産党岡山市議員

町)で開かれました。「8時間働けば普通に暮らせる社会に」「戦争しない日本これまでも、この先の時代も。」と、労働条件改善とともに、憲法を守る三千万人署名や市民と野党の共同で政治の転換も目指しています。

安全な食と農を市民と学び考える

超党派の地方議員らでつくる「立憲主義と地方自治を守る議員の会」が4月27日、山田正彦元農水相の「種子法」廃止で日本の農業はどうなる? という公開講座を開きました。

コメ、麦、大豆の日本の

伝統的な作物の種子を守ってきたのが種子法です。種子法廃止のために、メキシコやフィリピン

働く権利を守る市政に

東市議は毎年メーデーに参加しています。また、働く人の権利をどう守るかを学校で教えることや、市発注事業で働く労働者の労働条件を向上させるための「公契約条例」の制定を議会で求めています。

ンの農家のように自家採種が禁止され大手企業の高い種を買うことになりかねません。

GM作物や農薬は拡大

日本は、虫が食べると死ぬ毒を出したり、除草剤の効かない遺伝子組み換え(GM)作物の承認が増え、現在317種類です。アメリカの1.5倍以上です。除草剤のグリホサート残留許容量は、小麦で6倍など大幅緩和しました。これらの背景にあるのが日本のTPP参加です。

ひじゅん

ともに選挙をたたかいた人たちと山菜採りに。娘はワラビ採り初挑戦です。採れたての山菜は、その場で天ぷらにして食べました。またとない体験でした。(東つよし)



食と農を守る行政を

種子法が廃止されても、「種子条例」制定で種子を守ろうとする道県が出ています。同様の条例を岡山県がつくることを求める陳情が、この2月議会に岡山市議会に出されましたが、自公の反対で否決されました。食と農を守る議員の姿勢が問われます。